

2007 年度 富士山最安登山 報告書

日程 ; 8 月 9 . 10 日

参加者

CL 藤田琢也(理 3) O 型
羽根優介(法 3) O 型
笠井高人(済 3) A 型
橋崎裕幸(済 2) B 型
山下友輔(済 2) A 型
岩本唯 (文 1) B 型

行動予定

一日目

集合 JR 京都駅 07 : 00

移動 ;

JR ・ ・ 京都 7 : 33 ~ 米原 [8 : 27、8 : 32] ~ 大垣 [09 : 05、09 : 10] ~ 岐阜 9 : 22 (藤田合流)
~ 浜松 [11 : 03、11 : 11] ~ 興津 [12 : 43、12 : 53] ~ 沼津 [13 : 30、13 : 38] ~ 御殿場 14 : 11
着、買い物など

登山バス ・ ・ 御殿場 15 : 40 ~ 富士山 [須走口新 5 合目] 16 : 40 着
山荘菊屋にて休憩

二日目

22 : 00 出発

02 : 00 七合目

05 : 00 山頂着、お鉢めぐり & 朝食

08 : 00 下山開始・御殿場口

11 : 00 五合目到着

バス ・ ・ 須走口 新五合目 11 : 30 ~ 御殿場駅 12 : 00

御殿場口 5 合目 12 : 00 ~ JR 御殿場駅 12 : 30

御殿場プレミアム・アウトレットにてショッピング

JR ・ ・ 御殿場 14 : 28 ~ 沼津 [15 : 29、15 : 53] ~ 浜松 [17 : 59、18 : 10] ~ 豊橋 [18 : 46、19 :
06] ~ 米原 [21 : 11、21 : 37] ~ 京都 22 : 28

御殿場 16 : 28 ~ 沼津[16 : 59、17 : 14] ~ 浜松[19 : 21、19 : 34] ~ 大垣[21 : 30、21 : 35] ~ 米原[22 : 12、22 : 17] ~ 京都 23 : 08

費用 ; JR 京都 御殿場 往復 4600 円 (青春 18 切符) 各自で準備

バス 御殿場 須走口 片道 1500 円、往復 2000 円

御殿場口 御殿場駅 片道 1080 円

休憩 山荘菊屋...三時間 3000 円 今回はオマケで仮眠(5 時間)させてもらえた

装備 ; サブザック、 レインウェア、 ヘッドランプ、 着替え(上着など含)、 防寒着、 飲み物 2L 以上、 食器類、 予備電池、 タオル、 帽子(バンダナ可)、 非常食、 ライター(マッチ) ゴミ袋、 トイレットペーパー、 折り畳み傘、 日焼け止め、 身分証、 保険証(コピー可)、 洗面用具、 常備薬、 軍手、 ザックカバー、 行動食、 計画書、 登山靴 or トレッキングシューズ、 二日目の朝食

感想

羽根 優介

8 月 9 日

5 時半起床。準備を整え、京都駅へ。

集合は僕の管理に任されていたが、自らの私用で集合時間を変更してしまい、迷惑をかけてしまった。その後、電車に乗って御殿場駅へ。到着は 2 時半。3 時半にバスに乗り、五合目へ。16 時から 22 時まで、山小屋の座敷で休憩。

その後登山開始。最初は、ある程度の疲れがあったものの問題なく進む。しかし、3000 メートル前後で高山病と普段の運動不足が祟り、ダウン。皆に迷惑をかける。

日付が 8 月 10 日に移る。その後、何とか持ち直し、定期的に休憩を取ってもらいながら新八合へ。ここから急にツアー客で混みだし、ついには大渋滞に。そのうち、空が明らみだし、危機感を抱きつつも、何とか日の出前に山頂に。鳥居付近で日の出を迎える。はじめて見る日本最高峰からのご来光は素晴らしい光景だった。

皆でお湯を沸かし、暖かいモノとお茶を楽しむ。その後、お鉢巡りをする。途中で静岡新聞の記者と出くわし、写真撮影。8 時前に(?) 下山開始。最初はゴツゴツしていたところを降りていたが、やがて砂場に。見渡す限り一面が砂の海で、そこを滑るように駆け下りる。ひたすら砂煙を立てながらすべり降り、10 時半には下山。

バスで御殿場駅へ行き、そこからさらにバスで御殿場アウトレットへ。食事をし、お店を見た後に後輩二人を伴って出発。名古屋で下車し、味噌カツを食す。その後、京都駅を経て北山駅へ。バイト先においてあった原付に乗って帰宅。

今回の反省すべき点としては、勝手に集合時間を弄ってしまったこと、運動不足のために皆に迷惑をかけてしまったこと、換えのズボンを用意しなかったために電車やお店を汚してしまったのではないかと、ということです。

特に運動不足は致命的で、死にかけた。これは、次の登山までには是非改善しなければ…。前回からの改善点としては、荷物を軽く抑えた、登山靴と靴下を購入して動員した、等。そして、今回で学んだことといえば、自分が高山病にかかることがわかったことです。

山下 友輔

まず、合計費用が約 1 万円と安くてよかったです。

登りについては、想像していたよりも寒く空気が薄くて大変でした。

途中、鼻血を出したり高山病にかかったりとありましたが、全員が山頂に到達できて良かったです。そして、天気が良かったので御来光が綺麗に見ることができ嬉しかったです。

下山については、先の見えない深い砂の道を歩いていくのは結構楽しかったのですが、翌日の筋肉痛の原因となったようです・・・

最後に、長距離の電車移動が考えていたよりも大変でした。

翌日は筋肉痛で辛かったですが、とても楽しかったです。

岩本 唯

初めての富士山、しかも 3000 メートル級の登山は初めてだったので不安でしたが、怪我もなく無事帰って来られてよかったです。それに足元に広がる雲海や満天の星、ご来光、お鉢巡り、やる気を失うほどの素晴らしい下山道など、とてもいい思い出ができてとても楽しかったです。

そして今回の反省と課題としましては、長時間の登山に加え寝不足で頭が回らず、足に余計な負担をかけてしまう歩き方になってしまいました。これからトレーニングを積んで山での歩き方を叩き込もうと思います。また、予想以上にカロリーの消費が激しかったのでもっと行動食を持っていくべきでした。これらの反省点をふまえ、来年もまた富士山に行きたいと思います。

藤田 琢也

一回生のときに登った富士山ですが、日本で最も高い「剣ヶ峰」を拝んでいなかったため、今回はツアーではなく自分たちだけで行くことに。また、できるだけ費用を抑えるために青春 18 切符を使用しました。

御殿場駅は思ったよりも小さく、周りに大きな建物無し。富士山は雲の中。五合目に着いてからは多少時間があったので、他の人が休憩している間に散歩などをして時間を潰し、夕焼けに光る富士を眺めました。宿に戻り仮眠をしようとしたのですが、時間が早いのと全然疲れていないため、出発時間まで一睡もできず…。

午後 11 時、いよいよ出発。今までは一番大きくて人気のある河口湖口（吉田口）でしたが、今回は人混みを避けるため須走口登山道を選択。結果的には、本八合目で河口湖口と合流するまで人も少なく、変化のある登山道で快適な山行。本八で合流した後は、例のごとくツアー客に巻き込まれ、山頂手前では渋滞。それでもなんとか御来光を上で見ることが出来ました。そして、朝食を摂ったあと、お鉢めぐりをして剣ヶ峰へ行き、記念撮影。お天気は快晴で、山頂からは珍しい影富士を拝むことができました。

8 時ごろ下山開始。富士登山駅伝で有名な大砂走りを体感するため御殿場口を選択。楽しいことは楽しかったですが、きつかったです。まさに不毛の地「富士」
下に着いたときには全身砂埃まみれ。

下山後は御殿場駅近くにある「御殿場プレミアムアウトレット」でお買い物。帰宅時間の関係であまり時間が取れず申し訳なかったです。今度行く機会があればゆっくりしたいですね。その後の電車が一番大変でした…。

今回の富士山はとにかく交通費、宿泊費を削ったものだったので、体力に自信があればオススメです。登山道に関しては須走口が一番だと思います。